

【Nチーム通信 2022 第5号】

2/11、塩浜体育館において「市川 Special 大会」が開催されました。この大会は、毎年 2/11 に市川市バドミントン協会が開催する、県内及び東京都の市区代表チームを招聘して行うトップレベルの団体戦です。

競技形式は、いわゆる「スティルマン方式」（世界大会であるスティルマン杯での競技形式）と言われる、男女ダブルス、男女シングルス、ミックスの5種目で行われます。

コロナの影響もあり、3年ぶりの開催。当日は市川Nメンバーを中心に構成された3チームを含めた、計 13 チームでの大会開催となりました。

（毎年、この大会を年間スケジュールに組み、参加して下さる各市区チームには、本当に感謝しかありません。）

試合は、まずは4リーグに分かれ、予選リーグ。その後、各リーグの1位、2位、3位によって構成される順位別決勝トーナメントを戦い、最終的に総合順位が決定します。

市川からはAチーム、Bチーム、Cチームが、それぞれ別のリーグに入り、他市区の代表選手との熱戦を展開しました。

戦力的に最も整っているAチームは、予選リーグで千葉市（最終的には、1部決勝トーナメントで準優勝）と対戦。どの種目も接戦となりましたが、惜しくも敗戦。予選リーグ2位で、2部決勝トーナメントへ進みました。

B、Cチームは、残念ながら予選リーグで勝てず、3位となり、3部決勝トーナメントで奮起することとなりました。

決勝トーナメントでは、Aチームが2部決勝トーナメント優勝。Bチームが3部決勝トーナメント1回戦敗退。Cチームは、3部決勝トーナメント準優勝でした。

Aチームは、突然のメンバーチェンジが発生したり、B、Cチームにはシングルのできる中学生を投入したりと、チーム編成には苦労しましたが、どの選手もベストを尽くして頑張ってくれました。

（詳細な試合結果は、ホームページにアップされていますので、ご参照ください。）

なお、どのチームも県民大会出場レベルの選手を擁しており、非常に質の高い試合を展開していましたが、1部決勝トーナメントで優勝した柏市チーム、準優勝の千葉市チームの試合は、どの種目も圧巻でした。

特に、女子Dや男子Sは、県内トップレベル選手の対戦ということもあり、非常に見応えのある試合内容でした。個人的には、女子D選手の男子顔負けのスピード、パワー、それをも凌駕するレシーブ技術に感嘆しました。

普段、ここまでレベルの高い選手の試合を、市川市で間近に観る機会は少ないので、次年度はぜひ協会会員の皆様にも、市川チームの応援を兼ねて、観戦に来ていただければと思います。

次なるNチームの活躍の場は、3月に船橋市である年代別代表選手団体戦の「郡市リーグ大会」です。

年代別の大会は、また違った戦い方が必要です。総力戦となりますが、良い成績が残せるよう、チーム一丸となって頑張っていきます。



(2部優勝の市川Aチーム)

〔文責：強化担当理事 杉町〕